



余り布など家にあるものを持ち寄り活用 『家の光』を参考にSDGsなマスクづくり

レディースクラブ三和支部
八幡グループ

「コロナ禍で必要不可欠なマスクづくりで巣ごもりストレス解消を」

『家の光』を活用して、毎月第3火曜日に本読みや手芸、小物入れづくりなどを行っているレディースクラブ三和支部八幡グループ「あじさいクラブ」。しかし、コロナ禍の影響で今年度の活動は2回のみで、9月の活動も参加人数を縮小せざるを得ませんでした。マスクづくりは、パッチワーク等の余り布を持参したり、マスク専用のノーズワイヤーを市販されている園芸用のビニールタイで代用したりと、なるべく家にあるものを持ち寄り実施、エコを意識しSDGsにも取り組んでいます。普段の活動は、沖井和子副支部長や松本雅子副支部長が毎月『家の光』記事を実際に試して良かったものを取り入れています。このマスクづくりは特別で昨年



- ▲手作りマスクを手に持つ、あじさいクラブの皆さん
- ▶今回制作したマスクは、日頃お世話になっている八幡支店へ、感謝の気持ちを込めてプレゼントしました



▲家の光2020年7月号「ストックマスク」の記事を参考に。出来上がった作品は、八幡支店ロビーのレディースクラブコーナーでも紹介しています

も会員の巣ごもりストレスを解消したい。生活に必要なマスクは集まるきっかけになり、コロナ禍で役に立っているのでは」との思いからでした。今は「このマスクづくりが不要な世の中になりますように!」そんな願いも込めて会員たちはマスクを作り続けています。



第42回

JAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標として、組合員、地域から「必要とされ、なくてはならない存在」となることを目指し、さまざまな取り組みを展開しています。

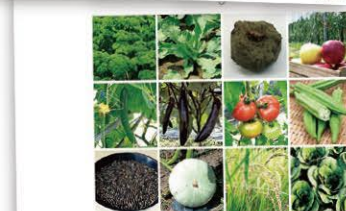
JA広島市の自己改革

“Farm's Flowers～田畑に咲く花たち～”JA広島市カレンダー2022完成

JA広島市は、第8次中期経営計画の基本目標に掲げる『地域農業の活性化による農業生産の拡大と農業所得の増大』に基づき、管内農畜産物の認知度向上に向け取り組んでいます。

その一環として、これまで管内の農産物や、農産物を材料とした保存食などをテーマにしたカレンダーを作成してきましたが、今回は、管内の農産物を題材としながらも、少し視点を変えて、普段消費者が目にする機会の少ない“農産物の花”をテーマに、2022年のカレンダーを作成しました。普段とは違った農産物の一面を紹介することで、管内の農産物への関心や理解を深めていただきたいと思います。花の写真とともに、花言葉を添えていますので、農産物の花を見慣れている生産者の方にもお楽しみいただける内容となっています。また、「JA広島市地産地消クッキング」でこれまで紹介したなかから、季節の農産物を使ったANAクラウンプラザホテル広島バンケット料理長の大森一憲シェフのオリジナルレシピも紹介しています。

JA広島市各支店で配付しておりますので、“田畑に咲く花たち”を飾っていただき、少しでも明るい気持ちになっていただければと思います。



“Farm's Flowers 田畑に咲く花たち”をテーマに制作した「JA広島市カレンダー2022」。裏面には収穫物の写真も掲載していますので、表紙と見比べてお楽しみください